

平成27年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	麻溝公民館の花壇美化活動 [ 1 ]
申請団体	麻溝ガーデニングクラブ
事業目的等	<p>事業概要 麻溝公民館前にある花壇の花の植え付けと管理、土の手入れ</p> <p>事業の目的 年間を通し、花壇に花が咲いているようにし、来館する方々の心を和ませる</p>
交付決定日	平成27年 5月25日
交付決定金額	48,000 円 (全体事業費 48,668 円)
団体実績報告	<p>事業実績 グリーンカーテンの作成 年間を通じて花の植え付けと手入れ及び管理</p> <p>自己評価 交付金の利用により、工具使用で作業効率も上がり、年間通じ花が絶えることなく花壇作りができた。</p>
市評価	公民館、まちづくりセンターに訪れる人にとって、手入れの行き届いた花壇は、その地域の人々の様子を映し出しているものと思える。こうした活動を通じて、地域住民が麻溝地区への愛着を持っていただけるよう、引き続き活動をお願いしたい。
備考	

申請事業名	つなぐ事業 [ 2 ]
申請団体	TSUNAGARI UNITED
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>1 人をつなぐ事業  児童養護施設などの子どもたちが施設退所後に地域の中で頼ったり相談できる大人を増やすため、フットボールを通じた人と人とのつながり作り  (月1回、会場:相模はやぶさ学園)</p> <p>2 知をつなぐ事業  子どもの人権や社会的養護、子育てをはじめとする子どもに関する知識を啓発するセミナー等の開催  (7月から3月まで全5回、会場:麻溝公民館)</p> <p>事業の目的  子どもたちに真剣に向き合う大人を増やし地域の子どもたちを「見守り」「寄り添い」「支え合い」「受け止める」つながりを作ること</p>
交付決定日	平成27年 5月25日
交付決定金額	191,000 円 (全体事業費 192,243 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人をつなぐ事業  フットサルをはやぶさ学園にて実施 年12回実施  続けることで子どもたちとの関係性が深まった。</li> <li>・知をつなぐ事業  講演会を実施 年5回実施  大人に興味を持ってもらい、少しずつ見守りのつながりができた。</li> </ul> <p>自己評価  もう少し広報に力を入れていく必要性を感じた。  続けることで、変化を感じることがあるので引き続き続けて発信等していきたい。</p>
市 評 価	1年目の事業であったが、“人をつなぐ事業”での子供たちとの関係の深まりや、“知をつなぐ事業”における参加者の増加など、一步一步興味を持つ大人が増えていることは素晴らしいと思う。次年度以降の活動の定着化と参加者の更なる増加に期待します。
備 考	

申請事業名	南区区制施行5周年記念第2回相模川鮎友釣り大会 [ 3 ]
申請団体	相模川鮎友釣り大会実行委員会
事業目的等	<p>事業概要 相模川の鮎の友釣りエリアが、これまでの高田橋下から昭和橋下まで広がったことから、従前行っていた昭和橋付近での鮎釣り大会を、鮎友釣り大会として再び実施するもの。</p> <p>事業の目的 ・母なる川・相模川での鮎釣りに親しむ ・相模川の雄大な自然環境に触れる ・参加者、近隣住民への憩いの場の提供</p>
交付決定日	平成26年 5月27日
交付決定金額	170,000 円 (全体事業費 482,380 円)
団体実績報告	<p>事業実績 南区区制施行5周年を記念して、2回目の相模川鮎友釣り大会を開催したが、当初8月2日に友釣り大会及び魚のつかみ取り大会を実施する予定であったが、7月の長雨の影響により、ダムからの放流が続いたため、友釣り大会を9日に延期しての分裂開催となった。しかし、両日とも天候に恵まれ多くの方に参加いただき、今回も盛会となった。また、急遽鮎の塩焼き体験も実施し、非常に好評で、焼き上がりが間に合わない状況であった。つかみ取り大会は、当日受付のため、参加者数が読めないため、河川敷のソフトボール利用者との駐車場利用について混乱があり、改善策が必要かと感じた。鮎友釣り大会や魚のつかみ取りを通じて、相模川の自然の豊かさを紹介することができた。また、様々な団体による運営協力や大会への協賛など大会実施への理解を得ることができた。</p> <p>鮎友釣り大会参加者59名 魚のつかみ取り参加113名 塩焼き体験101名</p> <p>自己評価 昨年に引き続き多くの参加者があったことは、この大会に期待する方が多いという証である。この度の大会の反省を生かし、来年度以降さらなる参加者が得られるよう実施内容等の充実を検討していきたい。</p>
市 評 価	2回目の大会で大雨による増水により、2日に分けての開催となったが、両日とも多くの方に参加していただき、相模川の自然の豊かさに触れていただく良い機会になったものと感じる。鮎友釣り大会は、相模川の状況を知っていれば、それなりの参加者もあるものと思われるが、魚のつかみ取り大会は、その大会の内容や相模川という川に対する魅力がなければ、多くの方は参加しないものと思われる。今年は、多くの参加者があったが、この大会の良さを多くの人に伝え、麻溝地区の夏の一大イベントに成長することを願います。
備 考	

申請事業名	あさみぞ探訪マップ等作成事業 [ 4 ]
申請団体	麻溝観光協会
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>1 あさみぞ探訪マップの再版 10,000部 平成22年度から平成25年度にかけ、3回再版を行ってきたが、地図の見やすさや掲載情報が豊富で、非常に好評をいただき残部数が少なくなったため、一部修正し再版する。</p> <p>2 麻溝観光協会会員活動物品の作製 ベスト及びキャップの購入</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源等の再発見</li> <li>・地区内外の方への麻溝地区の魅力発信</li> <li>・地域活動団体や地域住民の交流促進及び観光振興</li> </ul>
交付決定日	平成27年 7月27日
交付決定金額	1,055,000 円 (全体事業費 1,055,376 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成22年度に当協会を中心に麻溝地区の健康づくり普及員、文化財調査・普及員、自然観察員などの協力により作成した「あさみぞ探訪マップ」を再版した。当該マップはまちづくりセンター、公民館、原当麻駅などで継続的に配布を行っており、麻溝地区の魅力を発信し、来訪してもらうためのきっかけとなるマップとして、定着できたものと感じる。 再版部数:10,000部</p> <p>また、麻溝観光協会会員の活動用ベスト、キャップを作成し、鮎友釣り大会、麻溝ガイドによるハイキング等で活用していく。</p> <p>自己評価</p> <p>当該マップは、麻溝地区の観光資源などを地区内外の人に情報提供するの非常に有効なものであり、当協会や地区の発展につながるものであると考える。 また、このマップを地区内の団体などが事業に活用することにより、地区の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につながるものと考えている。</p>
市 評 価	麻溝観光協会が実施している観光に係る諸活動は、地域住民の郷土愛の醸成に大いに役立っているものと考えている。その一端を担っているのがあさみぞ探訪マップであり、地域住民への地域の新たな発見を促す時や地域外の人々に麻溝地区を広く紹介する時などのツールとして重要なものと考えている。また、観光協会のユニフォームを新調したことで、鮎友釣り大会などにおいて、観光協会の活動を広く紹介できるものと期待します。
備 考	

申請事業名	”いいまち あさみぞ”安心見守りプロジェクト推進事業	[ 5 ]
申請団体	いいまち あさみぞ安心見守りプロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>事業概要 「地域から孤立する人をつくらない」、「見守る必要のある人を確実に見守る」ことにより、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを実現する。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から孤立する人を見逃さない</li> <li>・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る</li> <li>・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う</li> </ul>	
交付決定日	平成27年 7月27日	
交付決定金額	180,000 円	(全体事業費 322,031 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロジェクト周知、気付き啓発事業 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシを全戸配布。 ポスティング業者により全戸配布(2月)を実施。</li> <li>2 安心グッズ作成・配布事業 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布。 ・安心グッズ希望者募集チラシ(6,800枚)作成(1月) ・ポスティング業者により全戸配布(2月)を実施 ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布(新規35個)</li> <li>3 情報交換会(視察)の開催 道志村で実施している「にっこりコール」について情報交換会を実施 (3月25日) 15名参加</li> </ol> <p>自己評価 平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員、自治会、老人クラブ等が継続して行うことで「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」が広まっているものと感じる。また、取り組みのチラシ配布については、全戸配布することにより、多くの人の目に触れるなど効果は高いものと考えている。</p>	
市評価	ゆるやかな見守りについて、継続的に事業を実施することにより、地域住民への周知と関心が高まっているものと感じる。また、関係する団体が連携を密にしていることは評価すべきものと感じる。さらなる定着を期待します。	
備考		

申請事業名	原当麻自治会 活動強化推進事業 [ 6 ]
申請団体	原当麻自治会
事業目的等	<p><b>事業概要</b> 自治会スタッフのベスト等を作成し、自治会活動で活用しながら自治会活動の見える化を図る。 自治会未加入世帯の多い地区などを調査し、地域に応じた効果的な加入促進策を計画的に実施する。 自治会未加入世帯に向けた広報紙を作成し、強化月間を設けて、戸別訪問等による加入促進を図る。</p> <p><b>事業の目的</b> 自治会未加入世帯の多い地区を中心に、地域に応じた効果的な自治会加入促進策を計画的に実施するとともに、自治会活動を地域住民の目に見えるものとし、地域における自治会の役割や重要性への理解を深める。</p>
交付決定日	平成27年 7月27日
交付決定金額	227,000 円 (全体事業費 227,677 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b> 自治会区域の未加入世帯を地図上で調査し、地区ごとの加入率や問題点を把握した上で、効率的な実施を図った。10月から12月までを強化月間として、自治会活動を分かりやすくまとめたチラシの配布や役員による戸別訪問を実施した結果、31世帯の新規加入につながった。また、自治会のベストやキャップを作成し、戸別訪問やゴミ置場の補修時等に着用することで、自治会への理解を深めることができた。 初年度は、新規加入50世帯という目標には届かなかったが、役員が本事業の大切さを認識し、一体となって取り組むことができたことは、数字以上の成果であったと考えている。</p> <p><b>自己評価</b> 3年計画の初年度は、戸建住宅を中心に加入促進を図り、一定の成果を上げることができた。一方、戸別訪問しても加入に至らない世帯も多く、その理由や原因をきちんと分析し、自治会活動の見直しや役員等の意識向上を図る必要性も感じた。 2年目以降については、加入率が低い賃貸の集合住宅入居者の加入促進にも、積極的に取り組んでいきたい。</p>
市 評 価	自治会加入促進は、各自治会において大きな課題となっている。この取り組みを数値的な分析をしながら取組方針を決定しているところは先進的である。他の自治会の手本となるような今後の取り組みに期待します。
備 考	

申請事業名	麻溝地区自治会連合会加入促進事業 [ 7 ]
申請団体	麻溝地区自治会連合会
事業目的等	<p>事業概要 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施するもの</p> <p>事業の目的 ・自治会活動の周知 ・自治会未加入者の加入促進</p>
交付決定日	平成27年 9月29日
交付決定金額	298,000 円 (全体事業費 446,736 円)
団体実績報告	<p>事業実績 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施した。</p> <p>1 折りたたみごみ収集カゴの設置 ごみ集積所の美観を保つための折りたたみごみ収集カゴを設置した。 (大サイズ5台、マンションサイズ2台、中サイズ6台、ミニサイズ1台)</p> <p>2 ごみ集積所自治会設置看板の設置 自治会が管理している周知を図るための看板を設置した。</p> <p>自己評価 自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。自治会活動として何が行われ、どのような効果があるのか、こうした活動を広く周知することはそうした相互理解への第一歩と考えている。こうした地道な活動を展開し、多くの住民が参加する自治会となるよう引き続き努めていきたい。</p>
市 評 価	<p>自治会加入促進は、地域の活性化、相互扶助の精神を推進する上では、大変重要な取組で、ごみ集積所の美化活動は、日々の生活に密着し、自治会活動を理解して、もらうには分かりやすいものとする。</p> <p>こうした取組を通じて、自治会加入に繋がることを期待する。他地区からも本取組についての問い合わせがあり、同様の課題を抱えていることが分かる。</p>
備 考	

申請事業名	自転車マナーアップ講習会	[ 8 ]
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
事業目的等	<p>事業概要            スタントマンによる交通事故擬似体験学習(スケアードストレイト)の実施</p> <p>事業の目的            自転車マナーアップの向上および交通安全意識の高揚</p>	
交付決定日	平成27年11月19日	
交付決定金額	280,000 円	(全体事業費 363,775 円)
団体実績報告	<p>事業実績            地域住民に対する自転車マナーアップの向上、交通安全に関する意識向上に繋がる事業を実施した。</p> <p>1 相模原南警察署による交通安全講話            2 スタントマンによる交通時擬似体験学習「スケアードストレイト」の実演</p> <p>自己評価            事前に自転車を点検することで、事故を未然に防ぐことや日頃何気なく行っていた行為が、交通ルール違反であったなど、事業に参加することで交通ルールの再認識や、マナーの向上につながることができた。今後も、交通事故防止や交通安全意識の高揚につながる講話や講習会を実施することで、安全で住みやすいまちづくりを目指し、地域の防犯・安全活動に取り組むように努めていきたい。</p>	
市評価	<p>麻溝地区では、2回目の実施であったが、目の前で再現される自転車事故の様子は、参加した方々にとって、事故の悲惨さと交通安全意識の向上の大切さを知る良い機会になったものと感じる。引き続き、地域の安全・安心の取組を推進していただけるよう期待します。</p>	
備考		



申請事業名	消防団員新規入団促進事業	[ 9 ]
申請団体	相模原市消防団南方面隊第一分団	
事業目的等	<p><b>事業概要</b>  「団員募集」と分団部名を明記したのぼり旗及びミニのぼりを製作し、分団各部詰所等に配置して地域住民へ周知し、入団促進を図る。  車両用に部旗を製作し、各部車両に掲示する。  さらに、防災訓練や各種行事において、消防団が訓練指導及び会場警備等を行う場合は、活動現場にのぼり旗を配置するとともに消防車両に部旗を掲示し、参加者、来場者へ周知し、入団促進を図る。</p> <p><b>事業の目的</b>  若者の新規入団を促進し消防団の健全な新陳代謝を促すことにより、消防団全体の士気を高めるとともに、退団者の豊富な知識・経験を地域防災に役立て、より強固な地域の防災体制を形成する。</p>	
交付決定日	平成28年 2月1日	
交付決定金額	451,000 円	(全体事業費 451,656 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b>  分団内各部に「消防団員募集」「分団部名」「消防団通称」を明記したのぼり旗を掲出し、各部団旗を配置した。ミニのぼりについては、麻溝まちづくりセンター内に掲出をお願いし、順次地元の商店、飲食店などに掲出をお願いする。  地域防災の中心としての消防団を、しっかりとアピールすることができ、団員の士気も向上した。平成28年3月現在において、新規入団が決定した新規入団員は4名(前年度3名)である。</p> <p><b>自己評価</b>  事業実施時期が年度末に近くなってしまったため、当事業は平成28年度も継続して実施して行き、さらなる新規団員の確保に努める。</p>	
市評価	<p>地域の防災に尽力する消防団の活性化は重要なことと考える。地域住民へ活動をPRし、理解を深めることは大切である。これら団旗の製作により、新入団に大いにつながることを期待します。</p>	
備考		